

令和3年度第2回 横浜市長浜ホール指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和3年8月11日（水） 15時30分から17時00分まで
- 2 場 所 横浜市役所 18階会議室なみき 16
- 3 出席者 高橋 義仁 委員長、河瀬 宏則 委員、鈴木 やよい 委員
- 4 傍聴者 3名
- 5 議事内容

議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 応募団体面接審査 <ol style="list-style-type: none"> (1) 提案者プレゼンテーション (2) 提案者に対するヒアリング 2 本審査 <ol style="list-style-type: none"> (1) 応募団体欠格事項等の確認について (2) 審議及び採点
議事・ 委員意見 等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 定足数の確認 委員数4名のうち3名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。 (2) 本委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市長浜野口記念公園の集会施設（横浜市長浜ホール）指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、「応募団体面接審査」は公開、「本審査」は非公開とした。 2 応募団体面接審査 横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体による提案書のプレゼンテーションの後、委員による質疑を行った。 <p><主な質疑応答> (以下「・」: 委員、「→」: 提案者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども中心の事業に力を入れているようだが、スタッフは何名いるのか。 →職員は3人、あとパートスタッフが5人。 ・野口英世の功績を「知る」勉強など、様々な事業が提案されているが、コーディネータは誰がどうやって行っていくのか。 →簡単な説明は職員やスタッフで、対応可能。さらに詳しくとなると、旧細菌検査室の保存活動を行っている団体の方たちにお願ひして説明をしていただいている。いろいろな角度から野口英世博士のことを勉強することはできる。 ・共同事業体の出資元である3者のうち、2者に関しては、2020年度の損益計算書で営業損失が計上されている。コロナ禍による一過性のものか。 →コロナ禍による影響。徐々に回復してきており、今後も期待できる。 ・利用者層を高齢者から若年層にしていくことに、特に力を入れていくようだが、具体的に若年層とは、どういう方を想定しているのか。

→イメージしているのは、20代、30代で、世代的にも非常に少なく文化芸術そのものに触れる機会も少なくなっている世代。現状、長浜ホールで展開している事業への参加状況も低く、この世代が育たないと、今後、文化芸術に触れる世代が出てなくなると考えている。

・20代、30代への広報は、どうすればアプローチできると考えているのか。

→まず近隣の方に知ってもらいたいというのが1つ。看板の設置を提案しており、野口英世の研究をした場所だということが示されたものを出すことによって、まず知ってもらおう。ホームページで調べてもらった際に、この施設が興味深いものだと思うような内容に改修を考えている。SNSでも発信をしている。

・歴史的建造物や旧細菌検査室の管理運営及び公開活用に際し、専門分野の職員を新たに設置する予定はあるか。

→今の職員で対応する。

・若年層の利用者を増やすことが施設活性化のポイント、提案内容のほかに具体的な方策は検討しているか。例えばオンライン発信環境の導入など

→SNSを中心としたオンラインでの情報発信など、しっかりと取り組んでいきたい。そのための整備として、若年層にもしっかりと興味を持ってもらえるホームページにしていく。

・窓口での現金払い以外に電子決済の活用など、新たなシステムの導入について導入される予定はあるか。

→今のところ、まだそこまではいけていない。

・提案されている事業は、すでに行っているのか。新たに行うのか。

→既に行っている部分もある。それをさらにブラッシュアップする形で今後もやっていく。

・20代、30代の人たちがやってほしいアイデアというのは、20代、30代に聞いたほうがいいのか、何か工夫はないか。

→他の文化施設の運営もしており、そこで若年層に向けた施策を行い、その反応をみながらチャレンジしているところ。

そういった他の文化施設の結果をうまく反映していく。

・感染症の影響下で利用とか利用方法の変更は、何か工夫したのか

→使用しやすい消毒用の機器の導入や、アクリル板の補充、各部屋利用後の消毒の徹底を行っている。利用者も安心して利用できている。

・衛生上の対応とは別の部分で、コロナ禍だとできないことが増えてくる一方で、オンライン配信などの需要はそれなりに出てきていると思っている。そのような変化への対応などの考えはあるか。

→施設としてWi-Fiを準備しておくことなどは、考えている。今までそういう発信がなかった部分が認知度につながっていかなかったと思う。長浜ホールのロケーションを普通に配信してもらえれば、それだけでかなりの宣伝効果にはなると思っている。そういう使われる方をどんどん誘致したい。

3 本審査

(1) 応募団体について、応募団体の欠格事項のうち、市税等の滞納がないこと及び暴

	<p>力団又は暴力団経営支配法人等ではないことが確認された旨を事務局から報告。</p> <p>(2) 提案書類及び面接審査の内容を踏まえ、委員による意見交換、各評価項目の採点を行った。</p> <p>【審査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者：横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 <p>総得点482点／660点（委員3名×持ち点220点）</p> <p>なお公募要項に、指定候補者及び次点候補者となるためには、選定評価委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計200点満点の6割以上）を満たすことが必要である旨の記載があり、3名全ての委員の採点がこの基準を満たしていることを併せて確認した。</p>
審査結果	<p>応募団体：横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体を指定候補者として横浜市長に報告する。</p> <p>なお、審査結果及び講評は、本日の意見を集約し、委員長確認のうえ報告書にまとめる。</p>